

エネルギー供給 ～主要な対策と施策～

主な対策と導入量及び削減効果					
	導入量(2005)		導入量(2020)		削減効果(2020) (万t-CO2)
	(万kW)	(万kL)	(万kW)	(万kL)	
・太陽光発電	144	35	3,700～5,000	928～1,246	2,300～3,200
・風力発電	109	44	1,131	465	1,000
・水力発電（大規模）	2,021	1,625	2,156	1,784	470～2,000
・水力発電（中小規模）	40	35	165～600	195～744	
・地熱	53	76	171	244	470
・太陽熱	—	61	—	131～178	140～240
・バイオマス発電	409	462	761	860	600
・バイオマス熱利用	—	470	—	887	780
計	—	2,808	—	5,494～6,407	5,800～8,400
（一次エネルギー供給比）	（一）	（5%）	（一）	（10～13%）	（一）

対策実現のための
主な施策

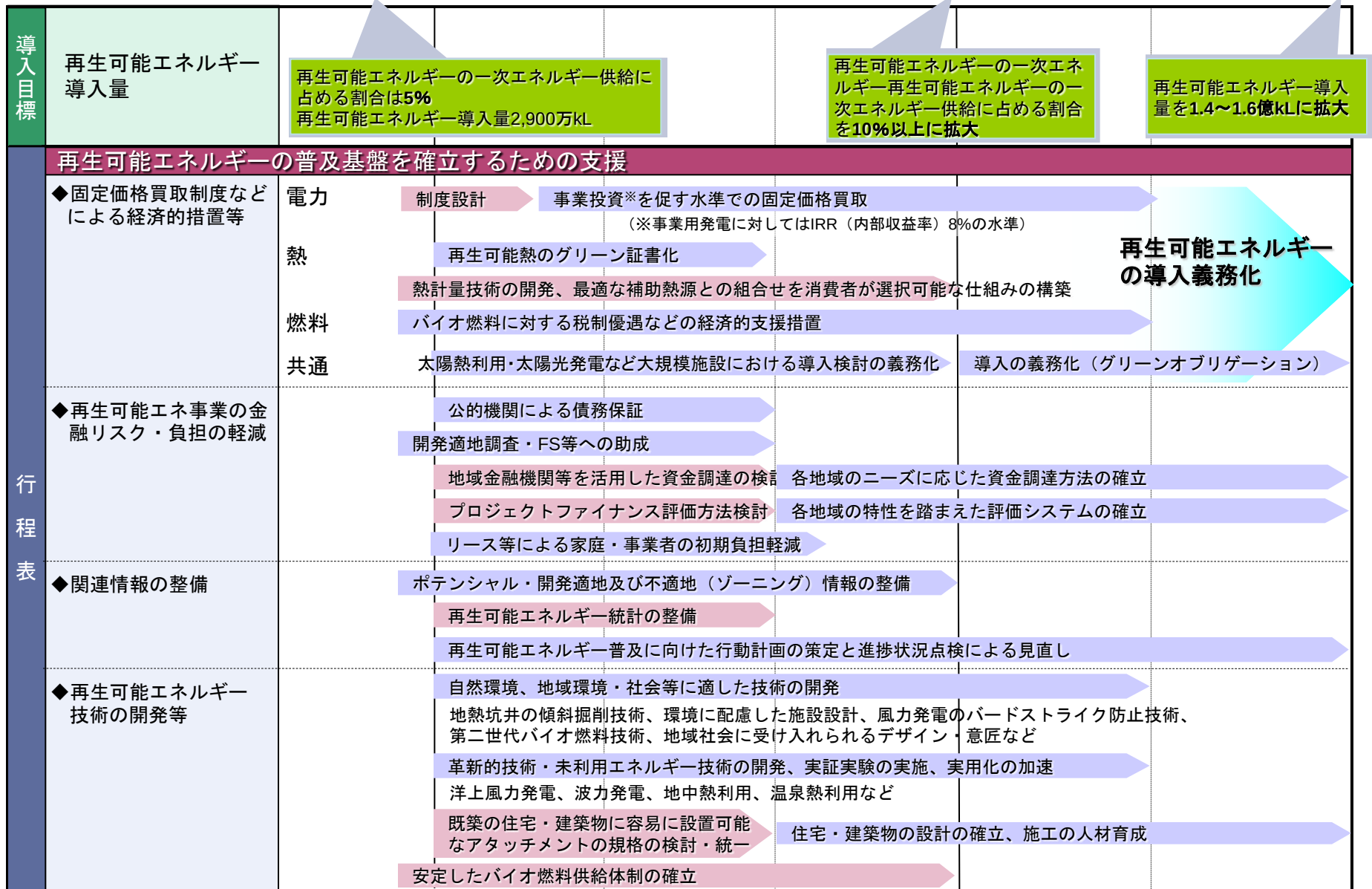
- ・ 事業投資を促す水準での固定価格買取
- ・ 再生可能熱（太陽熱、バイオマス熱）のグリーン証書化
- ・ 太陽熱利用・太陽光発電など、大規模施設における導入検討の義務化
- ・ 地域の人材、資源、市民資金などを活用した再生可能エネルギー事業体の設立と運営による地域活性化・地域振興
- ・ 地域間連系線の増強、系統へのエネルギー貯蔵システム
- ・ 安全の確保を大前提とした原子力発電の新增設、稼働率向上
- ・ キャップ・アンド・トレード方式による国内排出量取引制度を通じたエネルギーの低炭素化等の促進
- ・ 地球温暖化対策税の導入

○削減効果以外の便益

- ・エネルギーの分散化による災害時危機管理対応能力の向上
- ・地域の特性に応じた再生可能エネルギーの導入による産業振興
- ・身近な発電施設の新設による環境教育・エネルギー教育教材の充実 など

エネルギー供給 ～ロードマップ（再生可能エネルギー） 1/2～

1990 2005 2010 2012 2015 2020 2030 2050

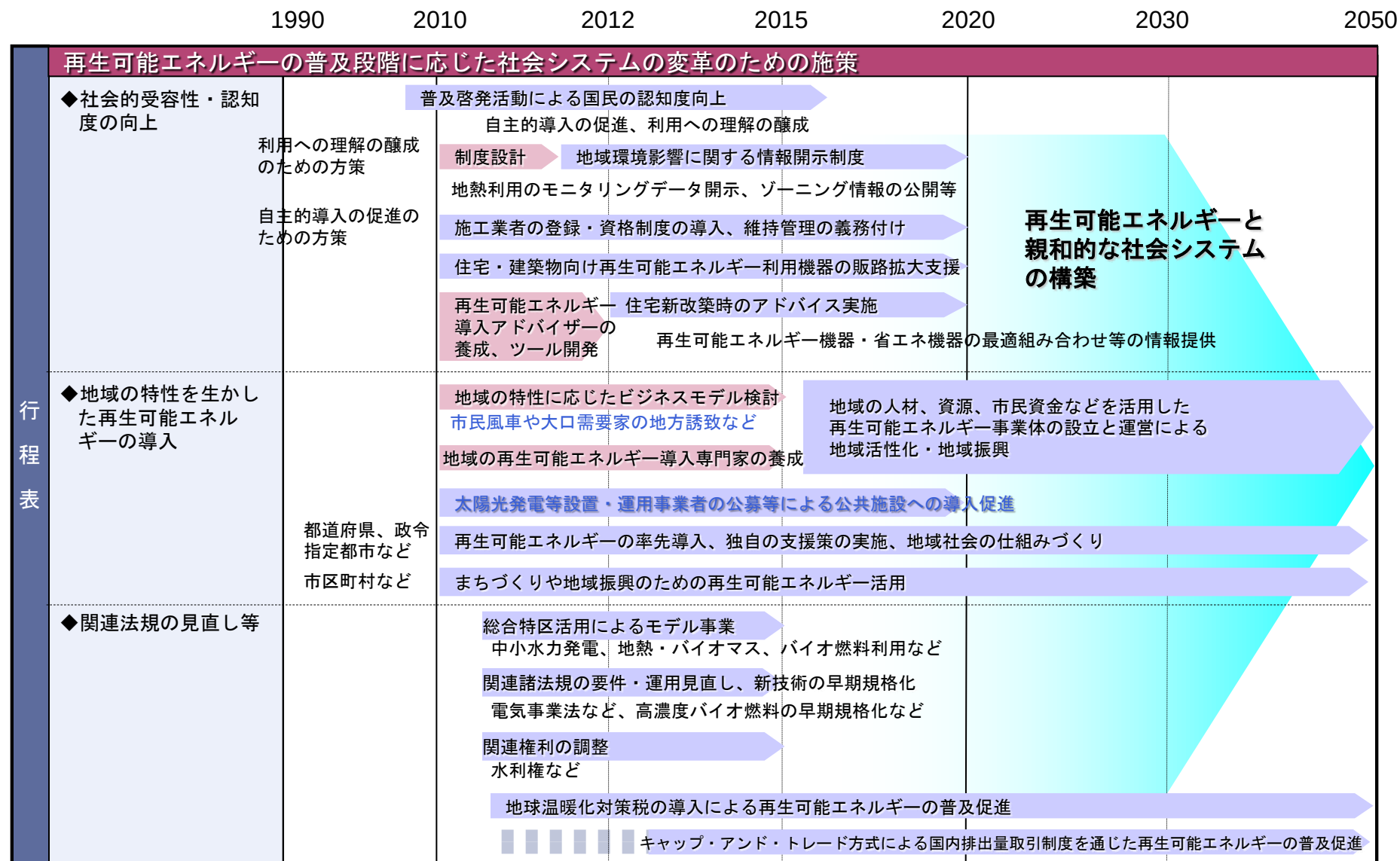


* 2011年度から実施される地球温暖化対策税による収収等を活用し、上記の対策・施策を強化。

温室効果ガス排出量を削減するための対策を推進するための施策

左記の施策を導入するために予め行っておくべき施策

エネルギー供給 ～ロードマップ（再生可能エネルギー） 2/2～

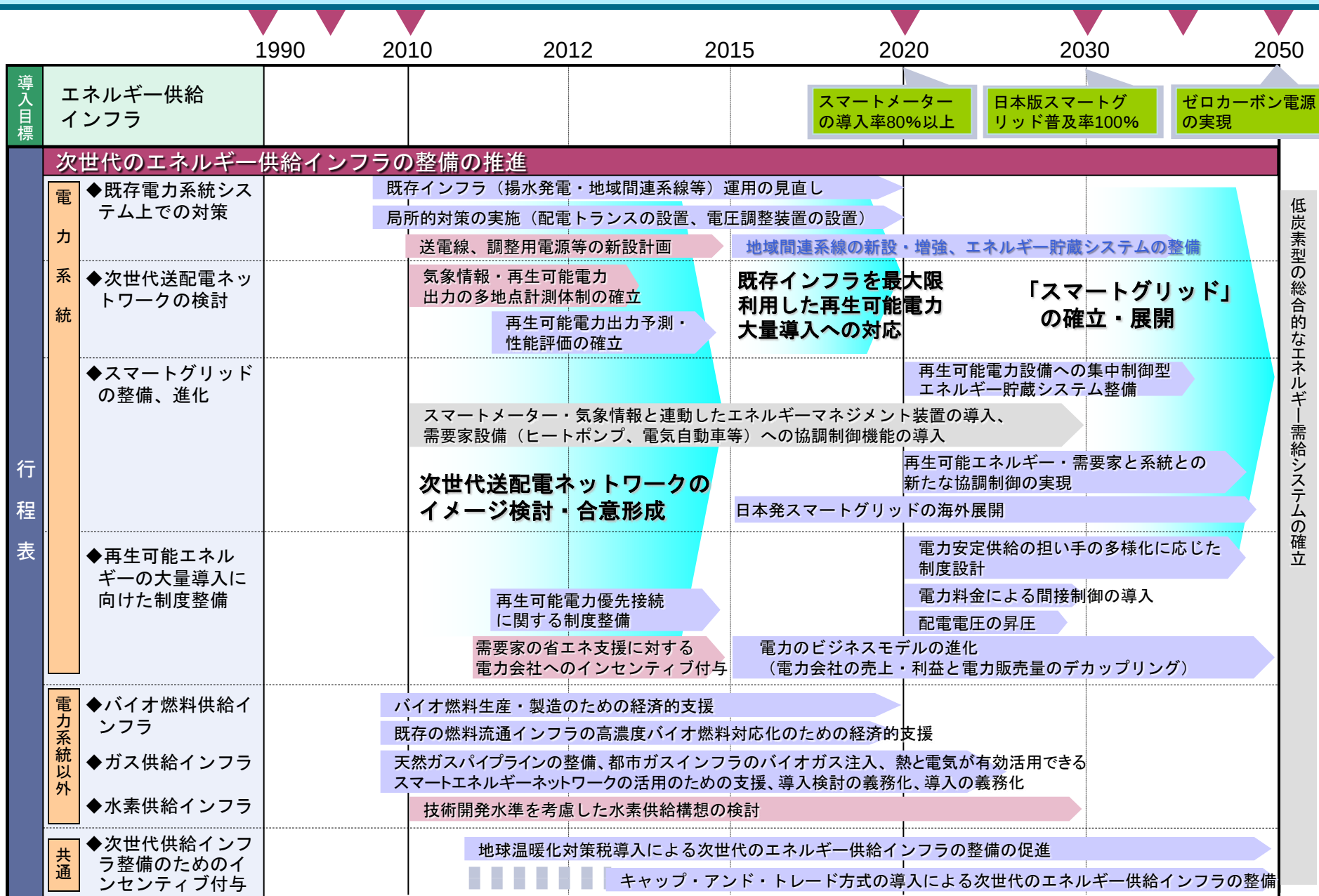


*2011年度から実施される地球温暖化対策税による税收等を活用し、上記の対策・施策を強化。

→ 温室効果ガス排出量を削減するための対策を推進するための施策

→ 左記の施策を導入するために予め行っておくべき施策

エネルギー供給 ～ロードマップ（エネルギー供給インフラ）～



* 2011年度から実施される地球温暖化対策税による税收等を活用し、上記の対策・施策を強化。

温室効果ガス排出量を削減するための対策を推進するための施策

左記の施策を導入するために予め行っておくべき施策

低炭素型の総合的なエネルギー需給システムの確立